

社団法人 西大寺青年会議所 広報誌

SAIDAIJI JC REPORT

2005年度スローガン

Get the future

～気があればできる～

第34回少年裸祭り開催



「第三十四回少年はだか祭りを終えて」

雨の中、当日を迎えることになりました。気分は百年前、日本海にてロシアバルチック艦隊を迎え撃つ帝国海軍連合艦隊です。秋山真之よろしく不肖私も禰を締め、その時を待ちました。「皇國（JC）の存亡この一戦（はだか祭り）にあり」

先方隊として境内下の会場に行き、準備万端と思ったのもつかの間、柵に入れるお米が無いことに気がつきました。これでは戦闘直前に主砲の蓋を外し忘れているのと同じです。正に日本海海

戦と同じではないかと興奮しつつ、急いでお米を用意してもらおうという不始末でした。

その後は大したトラブルも無く、恙無く少年はだか祭りを終えることができました。。

が、最後の最後に味噌を付けてしまい、課題を残す黄海海戦となってしまいました。残念！ 来年頑張ります。

地球ふるさと委員会 片岡 剛

吉井川フェスタ 2005 開催



「吉井川フェスタに参加して」

子供の頃、よく吉井川で遊んだ思い出があります。魚釣り、海水浴、シジミ採り。感受性の高い幼少期に眼、鼻、舌、身、心、この五感で感じた時の思いでは忘れる事は出来ません。やがてそんな思い出が大人に近づく為の心身発達の糧となり、今があるように思います。

大人になると、お金、家族、仕事、悩み、こんな多忙な毎日で過去に感じた記憶など思い出す余裕がありません。余裕が無いから他人はもちろん「自然」を考える事すら出来ません。そんな時、吉井川フェスタに来場して頂き、幼少期に感じた記憶

の紐をたどって頂きます。そこには自然が常に目の前にあった事を思い出し、久しぶりにその場所へ行くと、何とも言えない懐かしさを感じて頂けるのではないのでしょうか。

このようなイベントを通し、お子様方には汚れて行く川や自然に對し思いやりを育てる教育にもなると思いますし、親子で自然を考えるきっかけになればと考えております。

地球市民委員会 坪井綾広

発行日	平成 17 年 11 月 10 日
発行責任者	山根 祐一
編集責任者	麻岡 正義
発行所	社団法人西大寺青年会議所